

上北沢桜並木通信 第7号

上北沢の「桜まつり」とその前後に、1・3・4・5丁目住民の皆様を対象に、町会経由等でお配りしたアンケートの集計がまとまりました。

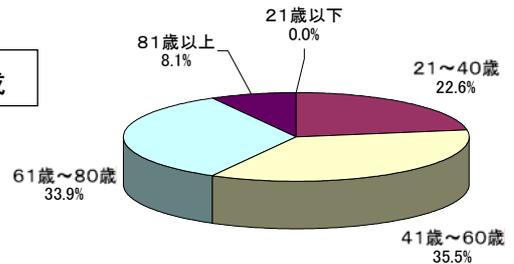
集計数は昨年より少なかったものの、回答内容は昨年にも増して真剣で積極的なもので、いろいろと教えていただくことの多い、大変有益なものばかりでした。今回のアンケートは内容が多く、その発表形式をどのようにするか、かなり議論いたしました。五大項目の内容はグラフ化し、個別のご意見は各項目の内からおのおの3、4件を選び、手を加えずにそのままの文章で記載することといたしました。

今後このアンケートの内容は、区・烏山総合支所ともご相談しながら実現を図るよう、月例会議などの場で討議してまいります。

調査方法：平成17年3月末から4月上旬にかけて桜祭りを中心に調査票を配布回収した。
調査対象：上北沢1・3・4・5丁目を中心に個別配布。桜祭りの訪問者にもご協力をお願いした。
回収数：131

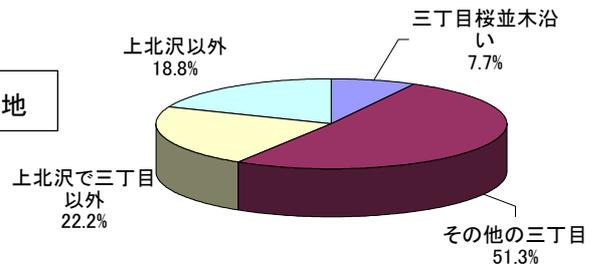
回答者の属性

年齢構成



回答者の年齢構成は、41歳～60歳が35.5%と最も多く、ついで61歳～80歳が33.9%となっています。10代の回答者が0なので、若年層の意見もぜひお聞きしたいものです。

居住地



居住地をみると、上北沢三丁目の方が多く、桜並木沿い(7.7%)その他の三丁目(51.3%)とあわせて、59%が三丁目にお住まいの方となっています。

桜並木維持保全の取り組みについて

今後の桜並木についてどのような取り組みが良いかお聞きしました。

■桜並木の維持保全と住民のかかわりについて(複数回答)

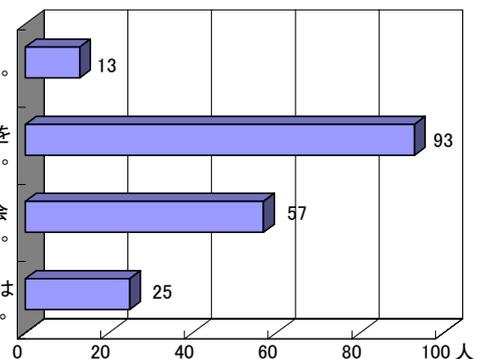
住民とのかかわりについてお聞きしたところ、「住民が考えて区に要望して

区に任せるべきである。

住民が住民にとってよりよい方法を考え、区に要望していくべきである。

住民だけで考えないで、町会や商店会にも意見と人を出してもらうべきである。

住民主導で積極的に進め、必要経費は上北沢町民が一部負担すべきである。



いく」という回答が最も多く、ついで「町会や商店会にも意見と人を出してもらおう」という回答が多くなっていました。今後も住民主体のとりくみが必要であり、また、町会や商店会の方との連携も必要であると感じている方が多いことがわかりました。

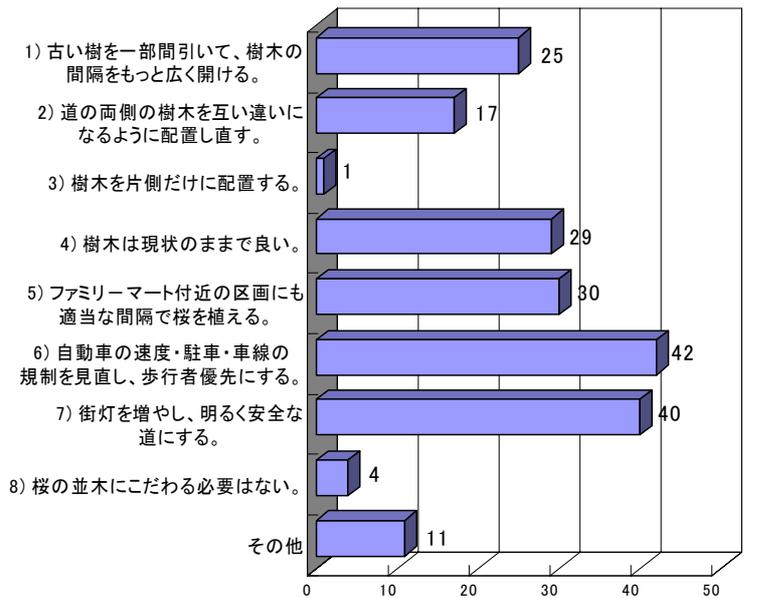
<自由意見欄より>

- ・ 上北沢の財産だと思うので、出来る限りの知恵を出して守りたいと思う。住民主導が良いかわかりませんが、桜基金的なものが出来れば寄付します。
- ・ 区の貴重な財産であり区に積極的に働きかけて保存に努めて欲しい。一部は住民が負担してもいいと思う。桜のシーズンに桜の木に目立つように募金箱を設置する手もある。ただし、金額、用途は公開する必要がある。
- ・ 今年の桜も見事でした。並木道沿いの住民の方たちはいろいろとご苦労も多いと思いますが歴史ある桜並木ぜひ良い方向で残って欲しいと思います。

■桜並木のよりよい環境形成のためには（複数回答）

桜並木のより良い環境形成のために必要と思うことをお聞きしたところ、「自動車の速度・駐車・車線の規制を見直し、歩行者優先にする」が最も多く、ついで、「街灯を増やし、明るく安全な道にする」という結果でした。

「樹木を片側だけ」「桜にこだわる必要はない」と答えた方は少数でした。



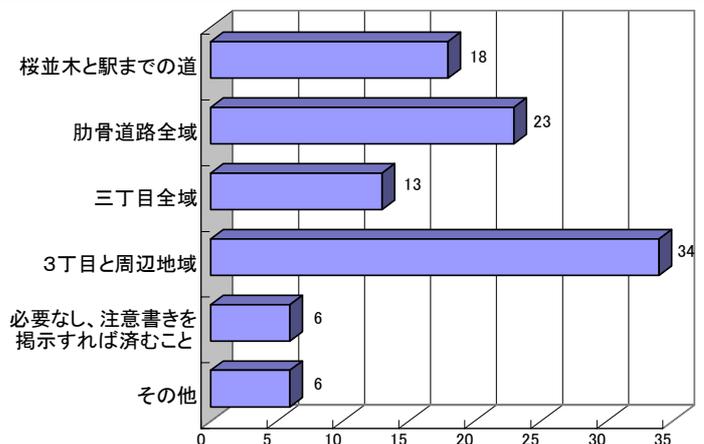
人

<自由意見欄より>

- ・ 4) 5)土の部分が少ないので木が可哀想と常々思っていました。何とか土部分を大きくしてください。ファミリーマートの都合で桜を伐ったと思われるので元通りに植えてほしい。ケーキ屋さんの前にもないのでぜひ植えてほしいと願います。古木は出来るだけ大切に生きているのだから、桜切るバカと云われるようにむやみに切らないで樹木医の診断に任せ大切に見守っていきたい。
- ・ 1) 2) 4) 5) 7) 等の総合的事項を取り上げ、結論から言えば桜並木の売りを消さないでみんなで守るべき。
- ・ 5) 6) 桜の木の専門家のご意見を聞いて、景観は現状を維持したい。これからの時代は破壊ではなく昔からの良き物を残すことに力を注ぐ必要があると思う。

■路上禁煙地区について

路上禁煙地区を指定することについては、多くの方に賛同していただいています。そのエリアについても、三丁目と周辺地域まで指定という方が、34人と最も多くなっていました。



<自由意見欄より>

- ・ 本来はマナーの問題ですが目に余るようならば禁煙地区設定も必要と思います。防災上も必要だと思います。周辺が無理なら桜並木から少しずつ範囲を広げていけばよいと思います。
- ・ 路上禁煙は今や当然のことと考えます。ただし、現在タバコの吸殻以上の重大問題は犬猫の糞尿及びそれらによる路傍植栽の損傷ではないでしょうか。(尿はあまり問題にされないが、尿害は重大)
- ・ 禁煙地区を設定する動きが盛んになっていることは当然の方向と考えます。ポイ捨て禁止は必要ですが、禁煙の必要性はむしろ狭い通路でのすれ違い等に特に感ぜられます。八幡山上北沢両駅付近への通勤通学路で検討の余地があると思います。

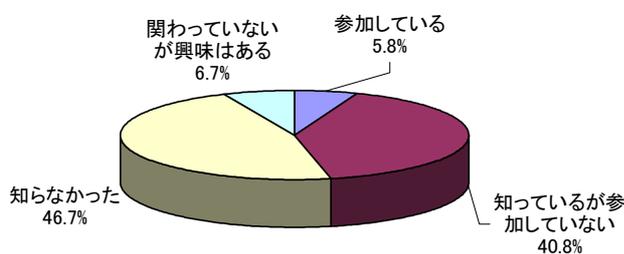
桜並木会議の取り組みについて

■これまでの取組の認知度

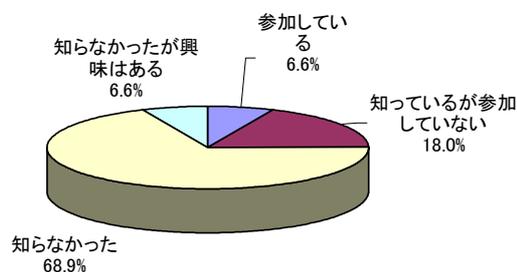
桜並木会議の立ち上げの会からまもなく1年が経とうとしています。この間、さまざまな活動をしてきましたが、住民のみなさんにどのくらいご理解いただいているのかお聞きしました。

全体として、まだまだ活動は認知されていないと思います。中では、樹木診断や観察会、桜並木清掃の活動は知っている方が比較的多いですが、保全や道づくりの検討会、ホームページがあることなどはまだ十分に認知されていないことがわかりました。今後ますます活動の周知を徹底していくことが必要です。

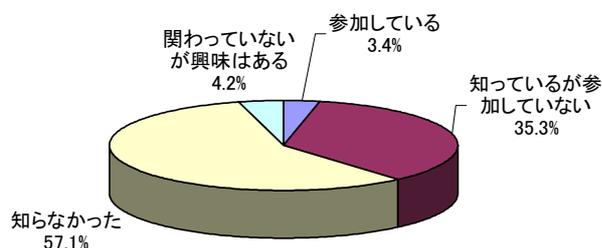
樹木診断の観察会



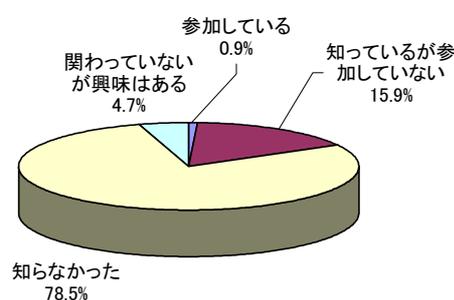
昔から今に至る上北沢の写真展(文化祭)



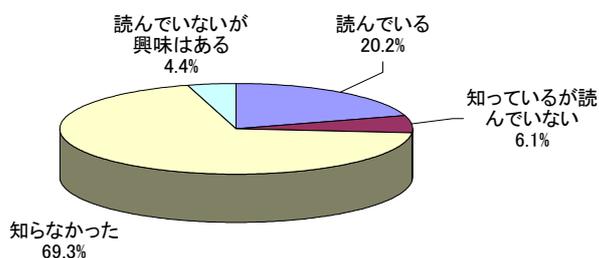
桜並木の清掃



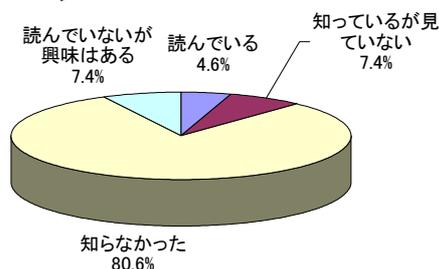
並木保全や道づくりの検討会



会報（桜並木通信）の配布



ホームページ



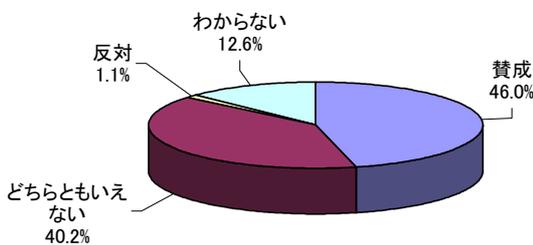
<自由意見欄より>

- ・ 上北沢に53年住んでいます。おじいちゃんの代からは80年。老木で枯れてしまっている。昔のようなきれいな並木に戻したい。
- ・ 戦後から長く住んできましたので、大変心に留めておりますが高齢者夫婦なのでご協力できず、申し訳ありません。こういう運動には大変感謝し、大切なことだと思っています。桜の老木の洞（切り口）にチューリップの花が咲き、大変心が和みました。ありがとうございました。
- ・ HPのトップの絵がとても気に入っています。明るく伸びやかで。 www.sakuranamiki.org

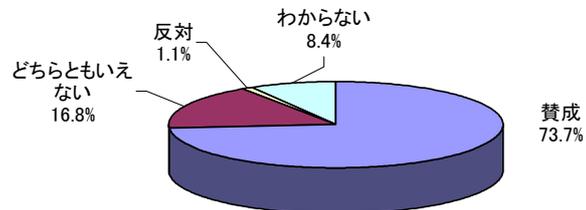
■これからの取り組みに対する意見や要望

今後どのような活動をしていったらよいかお聞きしました。道路の姿、文化、マナー、安全などについては賛成意見が多くありましたが、桜そのものの診断や保全についてはどちらとも言えないという意見が多くなっています。桜の伐採につながるなどの危惧があるのかもしれませんが、いずれにしても住民の意見を最大限重視した取り組みとしていきたいと考えます。

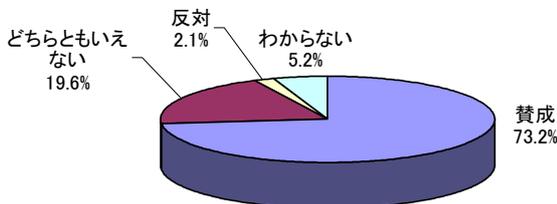
桜の診断・保全を検討する



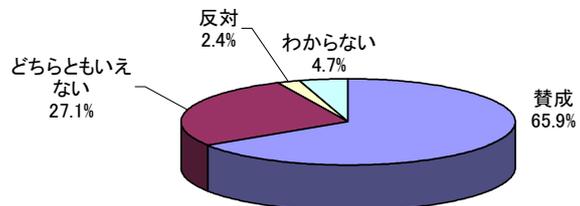
並木保全と道路の姿を検討する



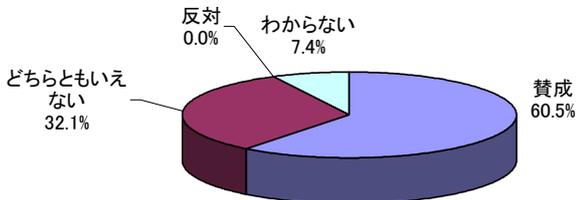
文化歴史を見直し豊かなコミュニティづくりを検討する



マナー規制・住民憲章を検討する



パトロールによる安全な街づくりを検討する



<自由意見欄より>

- ・ その地域の住人の方々の意見を大事にしてください
- ・ 出来る範囲でなるべく多数の人が活動に協力していければと思います。アンケートが複雑で多くて面倒に思う人があるかと思っています。簡単な形式で気軽に書けるようであれば尚いいと思います。
- ・ マナーを守って欲しい。年寄り、あかちゃん、からだの具合の悪い人などについて考えて欲しい。

上北沢桜並木会議とは？

上北沢の桜並木は、開花時期の美しさもさることながら、季節ごとの変化は見る人の心を癒し、地域にとって誇れる将来に残したい財産となっています。しかし、この桜並木は近年弱りはじめています。この貴重な財産を残すためには、地域のいろいろな人々の意見や知恵を集め、具体的な活動をはじめなければなりません。上北沢桜並木会議は、並木の維持保全に住民と行政の協働で取り組むとともに、これをきっかけとして地域のまちづくりを考え、「桜を見守るコミュニティ」をつくっていくという取り組みです。

連絡先: 和田和典 3302-6959 佐藤信二郎 3290-2660